

道徳通信

No.20 2023年(令和5年)2月6日(月)

東のお地蔵さまは、願いをかければ、何でもかなえてくれます。西のお地蔵さまは、願いをかけても、中々かなえてくれません。あなたはどちらに参りますか。



学習日：2月2日(木) 内容：「聞く地蔵と聞かぬ地蔵」

人間は、目標や理想に向かってコツコツ努力するという素晴らしい一面を持っている反面、ともすれば人に頼って得をしたい・楽をしたいという弱い気持ちも持っています。弱い部分に流されず、しっかりと自分をもって努力をしていくことの大切さについて考えましょう。

【生徒の考え】 「聞く地蔵と聞かぬ地蔵」を学び、感じたこと、考えたこと

私も村人の立場であったら、他人を不幸にしてまでも自分を幸せにしたいと思います。他人を落とすのではなく自分で努力して幸せになることが本当の幸せだと思いました。

授業中、私語をするのを無くしていこうと思った。人を蹴落として自分を上げて、逆に自分が下がっているんだなと思った。

何でも人に頼んだりするんじゃなくて、自分の意思で何とか解決する。人は苦勞することがあるから成長するので、甘えないようにしたい。

欲求は出しすぎてしまうと調子に乗ってそのまま駄目な人生を送ってしまうようになる。なので、楽をしようとせず努力をして、自分の欲求を満たしたい。

自分で努力せず他人を利用して手に入れた幸せはすぐに誰かに奪われたり失ったりしてしまう。自分で努力して手に入れた能力や知識は自分の中に残すことができる。

聞かないお地蔵さまは願いが叶うように努力する人を増やしたかったのだろうと思う。現実の世界で、願ったことがすぐ叶うなんてありえない。でもその願いに近づくために努力することはできる。願いを抱くのは自分の心に宿っている炎を燃やすためだと思った。

「あのとき、こうすればよかった」と後悔の気持ちが生まれないように、苦しいこと、しんどいことから逃げずにしっかりやっていきたいです。苦しいことを乗り越えてこそ、本当の楽しさがわかると思いました。

努力しようと志すことはとても大切なことです。しかし、思うだけでは、成長はありません。「口動」ではなく、実際に「行動」するようになっていきたいですね。今日から目標に向かって具体的な行動を始めよう。